



授業の目的と目標

目的

- Ruby on Rails を通して、Webアプリケーションの
 基本的な開発方法を理解する
- MVCの考え方を理解する
- アイデアを製品にする方法を理解する

目標

- Ruby on Rails を使ってWebアプリケーションを作成できる
- MVCの考え方を日本語で説明することができる
- アイデアを製品にする方法を理解し、それを実行することができる



授業の内容紹介

3回の授業にわたって、以下のスケジュールに沿って勉強をします。

授業回数	説明				
9	本のレビューアプリ作成 認証機能, 画像アップロード				
10	本のレビューアプリ作成 レビュー機能 Rails アプリ作成				
11	Rails アプリ発表				



発表

発表について

発表内容

- アプリの説明
- 各コントローラーの説明
- デモ

発表ルール

- · 発表時間 10分
- 質疑応答 5分
- ・ 全員は日本語で発表

◇ ポイント

- それぞれ自分が作成したコントローラーについて、 自分で発表します
- チームの代表者は自分の画面を共有して発表します
- 発表者はカメラをONに設定します

発表

発表のタイムテーブルについて



次の グループへ

発表の注意点

発表する時、下記のテクニックを使います

- 自信を持って話す
 聞き手の目を見て、大きな声で話す
 オンラインの場合はカメラ目線(カメラを見る)
- 分かりやすいスライドを作成する絵や文字をたくさん使わず、シンプルに作る
- ・ **聞く人が理解しやすいように話す** 聞く人に合わせた言葉を使う
- ・聞き手とコミュニケーションを取る 聞き手に質問したり、同意を求めるなど

発表の注意点

質疑応答について

- 発表が終わった後、皆さんは発表内容に対する「<u>質問</u>」
 「<u>指摘</u>」「フィードバック」をすることができる
- 手をあげて、先生に指名された学生は質問などを行う
- 手をあげて質問などをしてくれた学生には<u>加点する</u>うまく質問できなくても<u>減点しない</u>
- 手をあげて質問などをする学生がいない場合、先生が質問などをする学生を指名するその場合、上手に質問などをできなかった学生は減点する

発表の評価基準

評価基準

Railsアプリ発表ルール

チームでRailsアプリ発表を行う 「発表の態度」「行方」と「内容」を評価する

採点は以下のルールで行う

項目		配点	大変良い	普通	悪い
発表態度	全員が同じくらい日本語で 発表していたか	2	全員が日本語で発表している		発表していない人がいる
	正しい日本語で発表したか	2	日本語の使い方が3箇所以内間違えて いる	日本語の使い方が5か所以内間違えた	日本語の使い方が8か所以上間違えた
	発表時間が10分であったか	2	±30秒以内	±1分以内	±2分以上
発表の行い方	発表のテクニックを使用したか ・自信を持って話す ・聞く人が理解しやすいように話す ・聞き手とのコミュニケーションがある	3	自信を持って、左の3つの項目がある	発表出来るが、内容理解は時間がかかる [点数が項目数に該当する]	スライドを読んでいるだけ
発表内容	必須機能 ・ログイン機能 ・画像のアップロード機能	3	必須機能がすべて実装されている 内容が分かりやすく説明する	どちらか一方が実装されている それに ・内容はすぐに理解できる [2] ・内容理解は時間がかかる [1]	どちらもない
	コントローラーの数	2	チームで5個以上作成できている		5個未満である
	質疑応答	2	質問に対して正確に回答ができている	質問に対して概ね正確に回答ができてい る	質問に対して、正確に回答ができて いない

合計 16

評価ルール: https://sal.vn/7kGxAR





今日の発表会は終わりです 来週も元気に会いましょう!

Hẹn gặp lại vào tuần tới

